氏名	荒木　和美	部署	共通教育科	職名	准教授
研究分野	英語教育				
学位	修士				
学歴	カンザス州立大学大学院教育学部				
経歴	東京YMCA英語専門学校(専任)、一橋スクールオブビズネス(非常勤)、津田塾大学学芸学部(非常勤)、麗澤大学外国語学部(非常勤)、麗澤大学外国語学部別科(非常勤)、日本橋女学館短期大学(非常勤)、埼玉県立大学保健医療福祉学部(1999より専任)				
所属学会(役職)	JALT(全国語学教育学会)、日本e-learning学会、埼玉県立大学保健医療福祉科学学会				

【2016年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1)著作					
1	該当なし				
2					
3					
(2)論文					
1	該当なし				
2					
3					
(3)学会発表					
1	該当なし				
2					
3					
(4)その他					
1	該当なし				
2					
3					

2. 競争的資金等の研究			
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別	研究期間
1	該当なし		
2			
3			

3. 教育業績			
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)
(1)講義			
1	該当なし		
2			
3			
(2)演習			
1	英語Ⅰ	前期	教科書はSocial Issues in a Contemporary World (成美堂出版)を用いて Chapter1: Food and Global Culture、Chapter 2: Global Wealth and Poverty 、Chapter 3: Ageing Society を学習した。また、自己学習用テキストとしてThe Next Stage to the TOEIC Test (Basic, Pre-Intermediate, Intermediate)(金星堂出版)を使用しTOEIC受験の準備を行った。前期はUnit1～8までを学習し、試験範囲とした。学期末には各自進度表を提出した。

2	英語Ⅰ（看護学科編入クラス）	前期	Caring for People(Cengage Learning)を教科書として使用した。 Unit1：Meeting Patients Unit 2:Taking a Medical History Unit 3: Assessing Patients' Symptoms Unit 4: Taking Vital Signs Unit 5: Taking a Specimen Unit 6:Conducting Medical Examinationsを学習した。 看護の様々な場面での会話練習を行い、また医療分野での語彙力を主に 学習した。
3	英語Ⅱ	後期	教科書はSocial Issues in a Contemporary World（成美堂出版）を用いて Chapter6：Smoking、Chapter7: Gender、Chapter8: Population を学習した。また、自己学習用テキストとしてThe Next Stage to the TOEIC Test (Basic, Pre-Intermediate, Intermedia)（金星堂出版）を使用し、TOEIC受験の準備を行った。後期はUnit9～15までを学習した。学期末には各自進度表を提出した。
2	英語Ⅱ（看護学科編入クラス）	後期	教科書にはCase Studies（成美堂出版）を使用した。Unit 1:Risk for Injury、 2.:Self-Care Deficit、Unit 3:Respiratory Disorders、4:Fluit Volume Deficit、5:Insomnia、6:Chronic Pain （各ユニット副題は省略）を学習し、看護の分野での読みの能力の養成に努めた。また、医療分野でよく用いられる語彙力の養成にも努めた。
3	英語Ⅲ	前期	教科書はRead Smart(Cengage Learning)を使用し、Unit 1: Birth Order and Personality、Unit 2: The College Dropout、 Unit 3: Just a Game!、 Unit 4: The Brick Factory、Unit 5: Man's Best Friendを学習した。授業の前半は通常教室で、後半はコンピュータ教室で行った。後半はEnglish Central （成美堂出版）を用いて聴解力を語彙力の養成を行った。この教材に関しては学生自身が見たいビデオを選択した。学習の量を平常点の一部として評価した。
4	英語Ⅳ	後期	教科書はRead Smart(Cengage Learning)を使用し、Unit 6: Small and Powerful、Unit 7:More than Honey、Unit 8: Teenagers and Their Parents、Unit 9:Teaching Kindness、Unit 10: Women Who Make a Differenceを学習した。前期同様授業の前半は通常教室で、後半はコンピュータ教室で行った。 後半はEnglish Central(成美堂出版）を継続して学習し、さらに聴解力を語彙力を養成した。学習の量を平常点の一部として評価した。
5	英語演習C（選択科目）	後期	Oxford English Grammar Course Basicを使用して英語の文法を学習した。 Section 1～Section 10を学習範囲として、各sectionのレベル1は宿題とし、 授業ではレベル2を主に学習した。単に問題を解くだけではなく、文レベルの 英語を書くことおよび発話を取り入れて基礎的は英語の能力を養成した。 学期末には筆記試験を実施した。また教科書に付随したCD-Romの学習を コンピュータ教室で行う時間を設けた。
（3）実習			
1	ヒューマンケア体験実習	後期	越谷市内にある高齢者施設を2施設担当。施設訪問、引率、振り返り学習、発表会への参加、レポートの評価等を実施した。
2			
3			
（4）論文指導			
1	該当なし		
2			
3			

(5)その他			
1	該当なし		
2			
3			

4. 社会貢献活動

(1)講演会、研修会等の講師

	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	該当なし			
2				
3				

(2)国、自治体、財団法人等における委員等

	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	越谷市国際交流協会	青少年委員	
2			
3			

(3)ジャーナリズムでの発言

	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
2			
3			

5. 学内運営(委員会委員)

1	埼玉県立大学保健医療福祉科学学会総務委員(書記)
2	国際交流委員
3	紀要編集委員

6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)

	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		

7. 特許の保有状況

	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		

8. 特記事項

	該当なし